

コンサポ広場

第5号 平成31年3月発行
発行元 特定非営利活動法人
コンシューマーズサポート鳥取

あれ！大丈夫かな？

気づきからつながる



地域の見守り ネットワーク



～みんなで、地域で、つながって、高齢者を守りましょう！～

「平成30年度 安全・安心な消費生活のための地域見守りネットワーク化研修会」が11月5日（月）に東部地区、6日（火）に西部地区で開催され、地域包括支援センターの職員や民生児童委員、地域の見守りサポーターをはじめ、行政職員や居宅介護支援事業者など、県内各地から約70人が参加しました。

講師は、愛媛県東温市、松前町、砥部町の3市町で消費生活相談員として活躍される武田咲枝さん。武田さんは3市町での相談窓口の整備や連携強化等を実現し、広域的な「高齢者見守りネットワーク」を構築した功績により、平成27年度消費者支援功労者表彰で内閣総理大臣表彰を受賞されています。その経験を踏まえ、「みんなで守ろう！高齢者の消費者トラブル ～地域見守りネットワークの構築に向けて～」と題して講演していただきました。



講師の武田 咲枝さん

武田さんは相談員に就任した当初、行政職員ですら消費生活相談窓口の存在を知らないことに驚き、「まずは周知が必要」と、各庁舎の全ての窓口と福祉関係機関などを頻繁に訪問し、啓発チラシ等を

配布してまわったそうです。そのうち、福祉関係者から高齢者の相談が入るようになってくると、相談解決後の再発防止のためには関係機関による連携が必要と、3市町全域での「高齢者見守りネットワーク」の構築を計画。そして、警察OBである行政支援員の協力を得られたことで、地元警察署との連携体制も実現されました。私たちも武田さんの行動力を見習わねばと思いました。講演の最後に、武田さんが「明確な目標を定め、目の前のできることを着実に実行していけば、見守りの輪は自然と広がり、つながってい

(次頁へ)



くんです」と話しておられた言葉がとても心に残りました。

講演後のワークショップでは、参加者が健康食品の送り付けと訪問購入を題材に寸劇を披露。5、6人のグループに分かれ、寸劇の内容に沿って気づきや声かけのポイントなどについて話し合いました。参加者はそれぞれの立場で活発に発言し、職種の壁を越えて意見や情報の交換が行われました。

《参加者の声 ～アンケートから～》

研修会終了後のアンケートでは、多くの方から「わかりやすく参考になった」と良い評価をいただきました。その一部を紹介します。

- ・「ネットワークの必要性は感じつつも実現のための手順が分からなかった。講師の成功パターンは非常に参考になった」
- ・「声かけや気づきのポイントがよく分かったので、持ち帰り皆に話したい」
- ・「自治体職員として、常に発信者意識を持っていかなければいけないと感じた」
- ・「ワークショップで他の人の考え方が聞けてよかった」
- ・「弱者を守ると言う強い熱意が伝わり、よく理解できた」



参加者が寸劇で事例を披露



武田講師の啓発用資料



グループ毎に活発に意見交換



コンサポ鳥取は、「消費生活の応援団！」

「安全・安心な消費生活」のため、私たち消費生活相談員は、相談業務や啓発活動などに日々頑張っています！



コンシューマーズサポート鳥取のキャラクター「太助」くん

CST研修会の報告

第1回/7月16日

午前の部 メンタルヘルスの基礎知識とセルフケア

鳥取産業保健総合支援センターのメンタルヘルス対策促進員の板倉剛さんからお話を伺いました。

ストレスと上手に付き合うための「メンタルヘルスの基礎知識とセルフケア」について、ストレスはたくさんあるが、自分の考えにとらわれ過ぎないこと、そして、物事を柔軟に考えることが大切だと教えていただきました。



板倉講師



坂根講師の模擬授業

午後の部 地球のためのエシカルライフ

午後の部では、鳥取県消費生活センターによる消費生活相談員向け消費者教育（スキルアップ）研修として、公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会（NACS）の坂根裕子さんに模擬授業をしていただきました。

生活に身近なトイレットペーパーを使い、グループワークで楽しみながらエシカルな考え方に触れることができました。ぜひ鳥取の子どもたちにも体験させてあげたいと思いました。

第2回/11月23日

午前の部 認知症の正しい理解

認知症の人と家族の会鳥取県支部代表世話人の吉野立^{りゅう}氏をお迎えし、認知症についての基本的な知識や対応方法などのお話を伺いました。

認知症は、コミュニケーションの障害とのこと。意思疎通が困難な相手の思いをくみ取るためには、相手を「待つ」こと、相手の「つぶやき」を聞き逃さないことが大切と話しておられました。また、表情やしぐさ、言葉の抑揚などにも気を配り、相手に「いい感情」を覚えてもらうことで信頼関係を築くことができるということでした。日ごろの相談業務の中でも大いに参考にすべきと思いました。

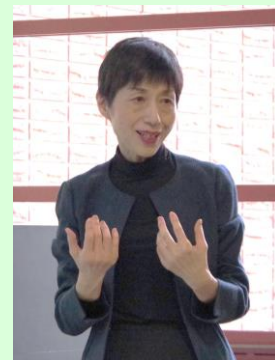


吉野講師

午後の部 成年年齢引下げに対応した高校生を対象にした消費者教育

NACSの安岡満美子さんから、成年年齢引き下げを見据え、これからの高校生のための消費者教育についてお話を伺いました。成年年齢の引き下げが決まり、学校現場においては消費者教育がより一層重要なものと位置付けられたのではないかと思います。これを機会に消費者教育がさらに充実していくことを期待しています。

後半は、「見えないお金」をテーマにした高校生向けの模擬授業を体験しました。ワークシートの穴埋めや、順番に指名されて発表したりと、しばし、学生に戻った気分でドキドキワクワクしながら授業を受けました。



安岡講師

東部相談室だより

鳥取県東部の岩美町、八頭町、若桜町、智頭町の4町には、東部相談室から相談員が出向き、相談業務のほか、出前講座や広報誌等で消費生活トラブルについての啓発活動を行っています。今回は、岩美町での活動を紹介します。

岩美町には、役場が放映している地域テレビ『岩美町チャンネル』があります。この度、消費者トラブルについて啓発番組を制作してもらうことになり、役場で撮影が行われました。内容は、実際に相談が寄せられた屋根工事の点検商法を題材にして、職員が簡単な寸劇をし、相談員が解決方法を解説するというものです。相談窓口の案内のほか、まだまだ続く架空請求はがきのトラブルを最後に取り上げました。約4分間の短い番組ですが、リピート放映されました。多くの町民の方に見ていただき、消費者トラブル解決の一助になればいいと思います。



『岩美チャンネル』の番組収録時の様子
(屋根工事の相談を聞く相談員)

～わたしの玉手箱～

我が家は南部町の山すそにあり、連日落ち葉掃きに追われていますが、近所や家の周辺で目にした生き物たちをご紹介します。

まず、近くの法勝寺川の土手にキジのつがいが営巣。初夏から夏の早朝5時半ごろ、ギョエ〜！と縄張り宣言の雄たけび。お伽話の「キジはケーンと鳴きました」なんて上品な声ではありませんね。あれは絶対にギョエ〜。約500m間隔で巣があり、互いに自己主張しあってにぎやかなことです。夏には野生の猿がお向かいの柿畑の木によじ登り、防災無線の音に追われ山へと逃げていきました。秋口にはアナグマと接近遭遇！我が家の裏の崖に向かってモソモソ歩いている姿を発見。

「誰？何やってるの？」と話しかけたところ、見事にフリーズ！顔は白く眼の部分は茶色の縦縞。尻尾は丸くてもっさり。写真を取り損ねて残念無念。それからタマムシ。本当に美しい羽根の色ですね。昔の人が厨子を飾りたい気持ちになったのがよくわかります。残念ながら今のところ生きて飛び回る姿ではなく、みまかられた姿しか発見できていませんが…。12月には、風呂場で越冬をたくらんだ体長20センチにも及ぶオオカマキリの雌とか。オオスズメバチの巣ならたくさんあります。毎年の春の桜並木は見事ですので、ぜひ遊びに来てくださいね。(ゆかり)



【編集後記】先日、久しぶりにバスに乗ると、料金箱に「おつりは出ません」との注意書き。一瞬、両替機が故障しているのかと焦りました。最近、「こんなことまで？」「当たり前でしょ？」と思うような注意書きが目につくのですが、当たり前も人それぞれ。表示は必要！なのでしょうね・・・ (永)



いつも応援ありがとう！
投稿、おまちしてま〜す。

【編集担当】 草野規子・前田薫子・永島ひとみ

【問い合わせ先】 特定非営利活動法人コンシューマーズサポート鳥取

☎ 080-2882-4402